

日本臨床検査医学会・日本臨床検査同学院共催

平成 23 年(第 56 回)一級臨床検査士資格認定試験

日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院共催のもと日本臨床検査医学会制定の本制度に従って、平成 23 年(第 56 回)資格認定試験を下記のごとく実施する。この試験は臨床検査士資格認定制度による最高級の試験であって、二級臨床検査士の資格を有する者に対して行うものである。

試験方法：

1) 第 1 次筆記試験

当該科目の学術(試験範囲参照)および一般常識

* 共通・専門英語 1 時間 30 分(英文出題基準あり)

* 専門筆記問題 2 時間

2) 第 2 次実地試験

第 1 次筆記試験に合格した者のみに行う。各科目ごとの単位制とし、全単位が成績優秀なものを合格とする。不合格の単位は次回再試験を受けることができる。この場合、合格単位の有効期限は 2 年とする(試験範囲参照)。受験しない場合は有効期限を 3 年とする。

受験資格：臨床検査技師(国家試験)資格取得後 5 年以上の実務歴があり、二級臨床検査士資格認定試験当該科目に合格後 3 年の実務歴があり、検査室の指導的技術者とし

て適当な人物であることを所属長が証明したもの。

試験科目：(1) 微生物学 (2) 病理学 (3) 臨床化学 (4) 血液学 (5) 免疫血清学 (6) 循環生理学 (7) 神経生理学 (8) 呼吸生理学

試験期日：

第 1 次筆記試験：2011 年 10 月 15 日(土) 東京・大阪

第 2 次実地試験：詳細は HP に掲載する。

願書提出期限：2011 年 9 月 1 日(木)より 9 月 7 日(水)まで(当日消印有効)

願書提出先：〒101-0054 千代田区神田錦町 1-13 宝栄錦町ビル 201 日本臨床検査同学院 一級試験係
TEL：03-5282-3117

個人情報の保護について：申請された内容は試験委員会において管理し目的外には使用しない。ただし、合格者の勤務先、氏名は(本人に確認して)公表する。

※一級試験の一般英語については一般・専門英語が不合格であっても専門筆記試験が合格と判定されれば実技試験が受けられること、その際、不合格であった英語は 3 年の間に合格すればよい。